

項目	内容
総合的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>因果関係を重視して書かれた本文や特設「結びつく世界」、特設「文化からみる当時の社会」により、<b>世界史の流れや社会構造、文化の背景、世界のつながりが理解できる</b>ようになっている。</li> <li>特設「探究TRY」をはじめとする資料読解や問いにより、学習者が<b>主体的に探究学習を行える</b>ようになっている。</li> <li>要約文・本文・側注の三段構成や、豊富な資料により、<b>世界史を整理して学習できる</b>ようになっている。</li> </ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文は全時代において、<b>因果関係が重視され、歴史の大きな流れや社会構造が理解できる</b>記述になっている。また、<b>9世紀以降の東南アジア海域の交易に関する内容が追加され</b>、海と陸のネットワークがつながり、世界が結びついていく過程が分かりやすくなっている。</li> <li><b>多様な世界の成り立ちとそこに暮らす人々との共生、国際協力の重要性を理解できる</b>よう、2部では諸地域の歴史的特質の形成が、3部では諸地域の交流やつながりの歴史が、4部では世界の結びつきのなかで起こった戦争と平和への取り組みが、5部では現代世界の課題と解決に向けた取り組みが丁寧に取り上げられている。</li> <li>随所に特設「結びつく世界」が12か所設けられ、<b>同時代的に起こった社会構造の変化や、現代に至る世界の一体化の過程、諸地域の相互関係が理解できる</b>ようになっている。</li> <li>文化史に関する本文ページには、特設「文化からみる当時の社会」が設けられ、本文の解説と絵画や史料などの資料を関連づけて学習できるようになっており、<b>当時の社会の様相や、社会と文化が相互に与えた影響、当時の文化が現在に与えた影響が理解できる</b>ようになっている。</li> <li>コラムは、多様な立場を踏まえて歴史事象を多面的・多角的に考える「視点を変えて」をはじめ、概念用語を解説する「Key Word」、補足的な内容を扱う「コラム」を設置し、さまざまな視点から内容を深められるようになっている。</li> <li>特設「探究TRY」は、これまで学習した内容を踏まえて複数の資料を読み解くことで、<b>学習上重要な概念についての理解を深めながら、思考力・判断力を育成できる</b>ようになっている。</li> </ul>
構成・分量	<ul style="list-style-type: none"> <li>補足的な事項や詳細な内容は側注に書き分けられており、学習内容のポイントを端的に押さえることができる小見出しごとの要約文も設置されているため、<b>歴史の大枠から詳細な事項までを整理して学習できる</b>ようになっている。</li> <li>地図や図表、絵画資料、文章史料が充実しているとともに、資料読解を促す「読み解き」が随所に設けられ、資料の比較や関連づけなど、<b>資料の活用を通して思考力・判断力を育成できる</b>ようになっている。</li> <li>学習を見通す「部の導入」「章の問い」「節の課題」、学習を振り返る「まとめと展望（部の振り返り）」「章の振り返り」「節の振り返り」や、各ページの「問い」など、<b>問いが随所に設置され</b>、学習者が<b>主体的に探究学習を行える</b>ようになっている。</li> <li><b>教科書全体を通して、QRコンテンツが充実し、教科書紙面を超えたさまざまな学びに対応できる</b>ようになっている。特に、「一問一答」「演習問題」は学習内容の定着を図ることができるよう、「文化史整理表」「重要用語」「地図」は学習事項に対する理解を深めることができるよう、「動画」「外部リンク」は学習意欲を高めることができるよう、それぞれ配慮されている。</li> </ul>

## 新詳世界史探究（令和9年度版） 特色一覧

<p>表記・表現 及び 使用上の便宜</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習指導要領に合わせて、<b>重要事項がもれなく丁寧に解説</b>されている。</li> <li>・ <b>ふりがなや重要語句へのゴシック（太字）</b>が効果的に振られている。</li> <li>・ 本文には関連図版・写真の図番号が示されており、<b>資料の活用を促す工夫</b>がなされている。</li> <li>・ 本文行間には関連する事項が扱われている箇所への参照ページが割り当てられ、<b>教科書を横断的に活用</b>する工夫がなされている。</li> </ul>
<p>ユニバーサル デザインへの 対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本文や側注、キャプションなどの文字には、見やすく読み間違えにくい<b>ユニバーサルデザインフォント（UDフォント）</b>が使用され、誤読を防ぐ配慮がなされている。</li> <li>・ <b>カラーユニバーサルデザイン</b>を採用し、色覚特性のある学習者にも読み取りやすい表現になっている。</li> </ul>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 紙は<b>環境に配慮</b>し、かつ<b>裏写りがしない用紙</b>が使用されている。</li> <li>・ 使用期間の間、破損することがないように、<b>堅牢なつくり</b>になっている。</li> <li>・ 指導資料や準拠ノートなど、<b>充実した関連教材</b>が用意されている。</li> </ul>